

赤十字NOW

千葉 | 2017 Vol.40

発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

変わらぬ人道への想い

明治、大正、昭和、そして平成・・・「人のいのちと健康・尊厳を守る」赤十字活動はいつの時代も変わりません
今年、日本赤十字社は**140**周年、千葉県支部は**125**周年を迎えました。
今まで赤十字を応援してくださりありがとうございました。これからも赤十字をよろしくお願いします



CONTENTS 2017 vol.40

23 特集

おかげさまで125周年
千葉県支部125年の歩み

4 News&Report

・初代日本赤十字社長 佐野常民からの文書を発見
・AEDで人命救助～赤十字救急法指導員 橋本健吾さん表彰
・殉職救護員慰霊祭を開催

5 News&Report

・九都市合同防災訓練に参加
・「赤十字キッズクロス」を開催

6 Information

・赤十字奉仕団チャリティーバザー開催
・寄付機能付き自動販売機の実装
・活動資金協力企業（団体）のご紹介

千葉県支部125年の歩み

～ 過去、現在、そして未来へ ～

明治25年に日本赤十字社千葉委員会として創立された千葉県支部は、今年で125周年を迎えます。

戦時救護から始まった活動は、災害救護、そして健康や安全のための活動へと広がっていきました。「苦しんでいる人を救う」という理念のもとに活動してきた千葉県支部125年の歩みを振り返ります。

1892(明治25)年 千葉委員会 創設

明治25年11月16日、日本赤十字社千葉県委員会が創設され、明治29年に千葉県支部と改称されました。

明治36年には初代社屋(現千葉市中央区本千葉町)を竣工。



1898(明治31)年 看護婦の養成を開始

県支部の救護看護婦を養成するため、県立千葉病院内(現千葉大学附属病院)に看護婦養成所を開設。



1899(明治32)年～ 県内各地で災害救護活動

日本赤十字社が初めて平時の災害救護を行ったのは、明治21年の磐梯山噴火災害です。

県内の災害救護活動は、天津町の津波被害(明治32年)、銚子港外の漁船遭難(同43年)、東葛飾郡・香取郡の水害(同43年)などが記録されています。

1923(大正12)年 関東大震災の救護活動

大正12年9月1日関東大震災が首都圏を襲い、未曾有の被害をもたらしました。県支部では、救護班の派遣や主要駅に救護所を開設するなどの救護活動を行いました。



芝公園に設置された救護テント

1924(大正13)年 富浦海浜学校を開設

全国初の虚弱児童のための小学校「富浦海浜学校」を開設。昭和24年に閉校され、県に移管して富浦学園に。



ラジオ体操をする子どもたち

1927(昭和2)年 2代目社屋を竣工

千葉市吾妻町(現千葉市中央区中央)に竣工され、その後40余年間支部活動の拠点に。

1931～45(昭和6～20)年 第二次世界大戦時の救護活動

満州事変から第二次世界大戦までの戦時救護では、延3万3千人を超える救護員が、北は満州、南は太平洋諸島に派遣され、1千人を超える殉職者が出るなどその規模や犠牲の大きさは空前絶後のものでした。県支部からも447人が派遣され、18人が尊い命を落としました。



ラバウルで
将兵と語らう救護員

1948(昭和23)年 成田赤十字病院 開設

日本医療団成田地方病院(成田不動尊前)が赤十字社に移管され、成田赤十字病院として開設。昭和29年には現在地(成田市飯田町)に新病院が建設されて移転。

1948(昭和23)年～ 赤十字奉仕団 誕生

県内各地で相次いで、ボランティア組織である赤十字奉仕団が結成されました。



救援用乳児肌着を作る
赤十字奉仕団

1952(昭和27)年 全国唯一の義肢製作所を設置

身体に障がいがある方々の補装具を製作、修繕するために、赤十字唯一の義肢製作所が設置されました。



1964(昭和39)年 血液事業を開始

県支部内に血液銀行が設置されて血液事業を開始。同年、「千葉県赤十字血液センター」に改称。

1971(昭和46)年 3代目社屋 赤十字会館を竣工

千葉市中央区千葉港(現千葉県医師会館)に竣工。

1978(昭和53)年 赤十字看護専門学校 開校

成田赤十字看護専門学校が開校。その後多くの看護師を輩出し、平成26年3月に閉校されました。

1995(平成7)年 阪神・淡路大震災の救護活動

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、6千人を超す死者を出す大災害となりました。

赤十字社は延べ6千人の救護員を派遣し、本県も救護班4班を派遣して、救護活動に当たりました。



2009(平成21)年 現社屋 赤十字会館を竣工

千葉市中央区千葉港に現在の社屋を竣工し移転。

2011(平成23)年 東日本大震災の救護活動

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、津波や原発事故など未曾有の大災害となりました。赤十字社は延894班の救護班を派遣し、7万5千人を超える方々に医療サービスを提供しました。

県支部も、地震発生後直ちに石巻、成田国際空港、東京ディズニーランドに救護班を派遣し、救援物資を被災地に緊急搬送。地域奉仕団も避難所での炊き出しなどの被災者支援を行いました。



傷病者であふれる
石巻赤十字病院ロビー



避難所で支援を行う旭市赤十字奉仕団

2016(平成28)年 熊本地震災害の救護活動

平成28年4月に発生した熊本地震には、赤十字社全体で救護班208班、支援要員285人などを派遣し、県支部からも、救護班2班、支援要員延30人を派遣しました。

2017(平成29)年～ そして未来へ

千葉県支部は、未来に向けて、また一步踏み出します。「苦しんでいる人を救う」という人道への想いを新たにさらに前進してまいりますので、今後ともよろしくお願いします。

救護活動 今昔ものがたり 救護活動の昔と今を比べてみると...

昔

救護服



救護看護師(明治)

救護機材



外科用救護機材(昭和)

救護体制



救護車両(関東大震災)

救援物資



アメリカ赤十字から送られた救援品の
ウイスキー(関東大震災)

今



救護服(現在)



救護機材(現在)



救護所・車両(東日本大震災)



救援物資(現在)

初代日本赤十字社長

佐野常民からの文書を発見



日本赤十字社の創始者である佐野常民社長から千葉支部長あてに通知された明治32年の公文書が、このたび千葉県支部の書庫から見つかりました。その内容は「戦時救護事業における救護演習が陸軍大臣から各師団長あてに訓令されたのでご承知おきください」というものです。

明治32年は支部が設立されてから7年後。当時の日本は日清戦争で勝利を収め、富国強兵で急速な近代化を目指していた時期でもあります。

この文書から当時の赤十字活動の中心が戦時救護であったことが窺われます。

日本赤十字社の誕生と佐野常民

明治10年、明治政府と西郷隆盛を盟主とした士族の間で激戦が繰り広げられた西南戦争は、両軍から多くの死傷者を出しました。

この悲惨な状況を知った佐野常民は、「敵味方の区別なく負傷者を救護する」という人道・博愛の考えに基づき救護団体「博愛社」を設立し、そこから日本赤十字社の歴史が始まりました。

AEDで人命救助

赤十字救急法指導員 橋本健吾さん表彰

赤十字救急法指導員の橋本健吾さんが、心肺停止状態の男性をAED（自動体外式除細動器）を使用して人命救助した功績で、消防署長から表彰されました。

千葉市検見川浜近くの職場で勤務中の橋本さんは、「人が倒れたのでAEDを貸してほしい」との依頼を受け、職場のAEDを持って現場に急行。浜辺で倒れていた男性に対しAEDを使って救命処置を行ったところ、男性は呼吸・意識を取り戻し、救急隊へと引き渡されました。

この功績により、8月31日に千葉市美浜消防署長から感謝状が贈呈されました。

橋本さんは、ボランティアで赤十字救急法等講習の指導員を10年以上務めるベテラン。「救助した方が助かったのが一番うれしい」「いざという時に自信をもってAEDを使うためには、日頃からの訓練が大切ですね」と話されていました。



AED
電気ショックを与えることで、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器

赤十字救急法指導員の
橋本健吾さん

救急法講習会を受講しませんか

AEDの使い方や人工呼吸の仕方など、いざという時に役立つ一次救命処置・応急手当が学べます。

詳しくは「日本赤十字社千葉県支部 救急法」を検索



平和の尊さを語る
小川智恵子同方会支部長



戦後七十二年が経過し、戦争の記憶の継承が年々難しくなる中で、悲惨な戦争が再び繰り返されることのないよう平和の尊さを語りついでいくことを、慰霊碑の前で改めて誓いました。

平和の尊さを語り継ぐ

先の大戦では多くの赤十字救護員が殉職されましたが、千葉県支部から派遣された十八名も、結核や疫病に倒れたり、救護員でありながら攻撃を受けるなどして、不幸にも命を落としました。

慰霊祭には、日本赤十字社看護師同方会の皆さんや支部職員などが参列。黙祷の後、慰霊碑に白菊を供えました。

終戦記念日を前にした八月七日（月）、支部敷地内に建立された赤十字殉職救護員慰霊碑「和魂（にぎたま）」の前において、慰霊祭がしめやかに営まれました。

慰霊碑「和魂」に黙祷と献花を

殉職救護員慰霊祭を開催

九都県市合同防災訓練に参加

●千葉県会場

東方沖地震を想定

平成29年8月26日(土)、匝瑳市(そうさ記念公園ほか)において、九都県市合同防災訓練が開催されました。

今回は千葉県東方沖を震源とする震度6強の地震が発生し、建物倒壊やライフラインの麻痺などを想定した実践的な訓練が行われました。

日本赤十字社からも85名が参加

訓練には、消防や自衛隊など約100機関から約5,000名が参加。赤十字社からも支部、成田赤十字病院、血液センター、安全奉仕団、匝瑳市赤十字奉仕団、防災ボランティアなど総勢85名が参加し、傷病者の医療救護、ボランティアセンター運営などの訓練のほか、啓発コーナーでは、非常炊き出しや救急法コーナーを設置し、来場者に体験していただきました。

●千葉市会場

千葉市直下地震にも出動

9月3日(日)、昭和の森(千葉市緑区)において行われた合同防災訓練に赤十字救護班及びボランティアなど62名が参加。千葉市直下を震源とし、震度6弱という想定で行われ、負傷者の応急処置や医療機関への搬送などの訓練を行いました。



車両から人命救出



搬送された傷病者を救護班がトリアージ



匝瑳市赤十字奉仕団による炊き出し



救護訓練現場へ向かう赤十字車両



防災ボランティアによる救援物資の仕分け



安全奉仕団による救命救急体験コーナー

「赤十字キッズクロス」を開催しました



キッズ救護員が大活躍



義足をつけて歩行体験



うまく包帯巻けるかな



福岡への思いをこめて..

赤十字の制服を着てお仕事を体験！

平成29年7月30日(日)、イオンモール幕張新都心(千葉市美浜区)において、お仕事体験「赤十字キッズクロス」を開催しました。

このイベントは、赤十字スタッフの制服を着てお仕事を体験することで、子どもたちに「命の大切さ」を知っていただくというものです。

子どもたちは、救護員や看護師、献血のお仕事体験、義足歩行体験など盛り沢山のイベントを体験しました。

福岡に励ましのメッセージ

また、豪雨被害が発生した福岡県朝倉市の被災者の皆さんを励ますメッセージフラッグを作成。子どもたちは、「せいかつが早く元どおりになりますように」「千葉からおうえんしています」など、思いを込めてメッセージを書き込みました。

10/28
(土)

～奉仕団創設70周年記念～ ～千葉県支部創立125周年記念～ **赤十字奉仕団 チャリティーバザー開催**

今年は日本赤十字社千葉県支部創立125周年。
そして来年は千葉県赤十字奉仕団創設70周年という
節目の年を迎えます。これらを記念して、赤十字奉仕団
がチャリティーバザーを開催します。

千葉県産野菜や焼きそばなどの販売、非常食炊き出し
体験など盛りだくさんの内容で、大人も子どもも楽し
めるイベントです。

ご家族、お友達などお誘い合わせのうえでご参加くだ
さい。

1 日時 平成29年**10月28日(土)**
午前11時～午後3時

2 場所 千葉県赤十字会館
千葉市中央区千葉港5-7
千葉都市モノレール「市役所前駅」徒歩3分
JR京葉線「千葉みなと駅」徒歩5分

3 内容 チャリティーバザー
親子非常食炊き出し体験
奉仕団活動のご紹介
千葉県支部125周年記念展示
災害救護の資機材や車両の展示
バルーンアート

来てね～



日本赤十字社 × **コカ・コーラ**
伊藤園

寄付機能付き自動販売機の実組み



コカ・コーラ



伊藤園

企業と赤十字とのコラボレーション

日本赤十字社千葉県支部は、コカ・コーライースト
ジャパン様及び伊藤園様とともに、寄付機能付き自動
販売機の設置活動に取り組んでいます。

これは、赤十字マークが付いた自動販売機の売り上げ
の一部をご寄付いただき、災害救護や救援物資の備蓄な
ど赤十字活動に活用させていただくものです。

置く人も、飲む人も、気軽にできる社会貢献

この自動販売機は個人でも法人でも設置でき、管理、
売上金の回収、赤十字への振込などは業者が行い、
設置者様のご負担は主に電気代のみです。

自動販売機を置く人も、飲料水を
飲む人も、身近なところで社会貢献
ができる取り組みです。

あなたも社会貢献活動を、赤十字
を通じて見える形にしませんか。

設置者を
募集しています

詳しくは下記までお問い合わせください。

問合せ先 日本赤十字社千葉県支部
振興課 ☎ 043-241-7531



活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金に支えられています。
赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 平成29年度第1四半期に10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた企業(団体)のお名前をご紹介します。
なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

ケージーサービス株式会社	(松戸市)
株式会社サンタクロース	(市原市)
新生産業株式会社	(千葉市中央区)
新日本建設株式会社	(千葉市美浜区)
株式会社千葉興業銀行	(千葉市美浜区)
株式会社千葉ロッテマリーンズ	(千葉市美浜区)
株式会社鶴商メンテナンス工業	(市原市)

一般社団法人日本自動車販売協会連合会千葉県支部	(千葉市美浜区)
松原建設株式会社	(千葉市中央区)
マツバラマリーン株式会社	(千葉市中央区)
有限会社丸和建材社	(富津市)
米屋産業株式会社	(成田市)
株式会社リンクス・ビルド	(船橋市)